

# とし歯科クリニック

## 私たちが必要としてくれるすべての人たちのために 患者さまの笑顔のための診療を



歯科衛生士  
渡邊 沙友里

副院長  
田中 千春

皆さんはどのような人生を送りたいですか？子供、親、周りの人達、自分のために、「心と体が健康な日々」を送りたいと思いませんか？

「私達は命の入り口、幸せの入り口の維持と創造の仕事をしています。」これは、とし歯科クリニックの朝礼で、毎日院長が発する言葉です。大袈裟と思われる方もいるでしょう。しかし私は、この言葉にとても共感しています。

人生には、不慮の事故などで健康では亡くなってしまふこともあります。しかし、糖尿病、高血圧、心臓病、脳卒中などの病気は普段何気なくしている生活習慣を改善することで防げるかもしれないことが多いのです。

「なぜ歯医者が体の病気の心配をしているのか、全く関係のないことなのか」と疑問に思われる方もいるでしょう。皆さんは「歯周病や虫歯は全身の病気とは関係がない」、「あったとしても稀なこと、自分にはあまり関係ない」...などと考えているかもしれません。しかしそれは大間違いです。実は、健康寿命を短くする様々な生活習慣病、重大疾患が発症する環境は、原因の一つとして歯周病によって作られていることが最近になってわかってきました。程度の差はあれ、30歳以上の8割が歯周病にかかっています。つまり健康に長生きをしたいと願う全ての方にとって、この話はとても耳寄りな情報なのです。

先ほどもお話したように、歯周病の悪化によって、糖尿病、動脈硬化、心筋梗塞、

脳梗塞、脳卒中、認知症、慢性関節リウマチ、アレルギー性疾患、妊婦さんの早産、お年寄りの誤嚥性肺炎...などの発症の危険性が高くなります。また、これらの疾患は重度歯周病があると治りにくいということも実証されています。ご存知でしょうか？

皆さんは歯ぐきが腫れたり、歯みがきの際に出血したことはありませんか？またその時「歯医者に行かなくちゃ!」と思う方はいらっしゃいますか？大抵の方は歯医者嫌いな人が多いのが現実です。治療期間が長くなったり、通院回数の多さなどが理由で、歯医者に通うのが面倒な方もいるでしょう。

そのため、歯ぐきが腫れたり、歯みがきのときに出血するというだけで、歯医者に行こうと思う方は少ないのではないのでしょうか。

このように歯周病に対して楽観的で見られるのは、実は歯周病という疾患を放置しておくことが、自分の寿命をも左右しかねない、恐ろしい病気であるということを知らないからです。

歯周病は、単なるお口の中の問題ではなく、メタボリックシンドロームの一つであることを理解していれば、皆さんももう少し歯周病の治療と予防について意識が高まるのではないのでしょうか。ほとんどの方は自分の歯周病に無関心です。虫歯よりも気にしていない方も少なくありません。

その理由の一つは、歯周病になっても歯周病の基本的な知識を持っていれば、早めの段階で歯医者に行こうと思うでしょう。ところが多くの方は、歯周病への危機感低く、その程度の症状では歯医者へ行こうとは思いません。そのうち歯周病は忘れられ、放置されて少しずつ進行していきます。やっと私達のところへ来てくれた時には、歯がグラグラしてきたり、噛むことに支障をきたしてきた時です。

歯周病はひどくなるまで症状が現れません。自然治癒することもなく、歯周病菌は増殖を繰り返し、歯ぐきや歯を支えている骨を破壊し、血液中に侵入していきます。

こうしてタチの悪い菌は全身をまわり、それが「サイトカイン」という物質を産み出し、最後に糖尿病やその他の全身病の発病にも結び付いていくのです。

「そろそろ歯医者に行かないとなあ」と思った頃、その時には既に歯周病菌はその人の寿命を短くする病気をせっせと準備しているかもしれません。あるいは、既に糖尿病や心臓病などの重大な病気を引き起こしているかもしれません。

それでも歯周病のせいそんな病気になっているとは夢にも思いません。ですから歯周病は恐ろしい病気なのです。「歯周病があると糖尿病になりやすく、糖尿病の人は歯周病になりやすいのです。」そしてお互いの病気を悪化させていきます。それはどちらか一方の治療を行っただけでは効果が少ないのですが、逆に言えば同時に治療を行えば良くなっていくということでもあります。

口の中の問題は、口の中だけの問題ではなく全身への影響を及ぼします。

私達は痛くなった虫歯を治すだけではありません。

今日から歯医者に行くきっかけを「痛みが我慢できなくなったから」というのを変えてみませんか？

皆さんが健康で幸せでいられることが私達の幸せです。

私たちが命の入り口、幸せの入り口の維持と創造の仕事をしています。

【院長】  
三浦 利之



みなさん、こんにちは。とし歯科クリニックの歯科衛生士、トリートメントコーディネーターの大沼です。

私がこの仕事に携わって3年になります。それでもまだまだ、TC(トリートメントコーディネーター)のことを知らない方が多いのが現状です。イメージとしては、ホテルというコンシェルジュ的な感じです。コンシェルジュとは宿泊客のあらゆる要望を伺い、案内などを「総合的世話係」今では究極のパーソナルサービスとも言われています。私も同様に、いろいろな場面で、皆様にお目にかかることでしょうか。患者様のご要望を伺うこと、治療のご提案、患者様へのアドバイスなど...

今では「大沼さんとお話したいんですけど!!」と入ってこられる患者様もいらっしゃいます。とても嬉しいことです♪初めて、クリニックにいらした患者様とは、出来るだけその日のうちにお話しを聞

かせていただく時間を作っています。初めて、お会いする患者様は何かといろいろな思いをお持ちです。

「痛い、歯科治療が怖い、どんな治療になるんだろう...」など、皆様の表情は不安でいっぱいの方もいらっしゃいます。先生には直接はなかなか言い出せない、聞けないこと...今まで、自分が歯科治療で体験してきた良いこと、悪いこと...治療について相談したいこと...自分のお口の中の状態はどうなっているんだろう...いろいろな思いが、頭の中をぐるぐる回っていませんか？

「わたしに話してください」

患者様の気持ちに寄り添い、お話しを聞かせていただきます。その思いをドクター、スタッフに伝える。TC(トリートメントコーディネーター)は、患者様とクリ



チーフ歯科衛生士  
トリートメントコーディネーター  
大沼 純子

ニックの架け橋的な役割もあります。わたしが日々、思うことがあります。

患者様が笑顔でいるためには、まずは、自分が笑顔でいること...愛する人達が笑顔でいること...一緒に働く仲間が笑顔でいること...まとめると、すべての人が笑顔でいること...これを意識しています。

考え方が変わると行動も変わる... Happy smile わたしの好きな言葉です。

たくさん笑うこと、たくさん笑顔に会えることに、喜びを感じます。健康なお口で、美味しく食べることができ、患者様が笑顔で、幸せになれるようにお手伝いすること、それが、わたしの仕事です。



私たちが必要としてくれるすべての人たちのために目の前にいる人の幸せを願おう。隣にいる人に感謝しよう。未来に思いを馳せて子供たちの太陽になろう。すべての人が笑顔でいることが私たち「とし歯科クリニック」の幸せです。